

市民メディア全国交流集会2004

プログラム

司会進行 高野春廣

(東海学園大学、市民とメディア研究会・あくせす副代表)

- 開会 . . . 13:00
- ごあいさつ . . . 13:00~13:05
津田 正夫 (立命館大学、市民とメディア研究会あくせす代表)
- <基調講演> . . . 13:05~13:35
岸本 晃さん (熊本プリズム代表、NPOくまもと未来理事長)
- <事例発表> . . . 13:35~16:00
1. 13:35~13:55 シビックメディア (札幌市) . . . 吉村卓也さん (NPO法人シビックメディア理事長)
 2. 13:55~14:15 むさしのみたか市民テレビ局 (三鷹市、武蔵野市) . . . 川井信良さん (NPO法人むさしの
みたか市民テレビ局代表)
 3. 14:15~14:35 湘南市民テレビ局 (藤沢市) . . . 鳥海希世子さん、星野慎吾さん (慶應義塾大学)
—休憩 14:35~14:45—
 4. 14:45~15:05 三重テレビ放送 (三重県) . . . 小川秀幸さん (三重テレビ放送報道制作部)
 5. 15:05~15:25 京都コミュニティ放送 (京都市) . . . 福井文雄さん (NPO法人京都コミュニティ放送理事)
 6. 15:25~15:45 中海テレビ放送 (米子市) . . . 高橋孝之さん (サテライトコミュニケーションズネット
ワーク代表取締役)
- 会場移動、休憩 15:45~16:00—
- <車座ディスカッション> . . . 16:00~17:20
7つのテーブルに分かれ各講師を囲んでディスカッションを行います。
—会場移動 17:20~17:30—
- <まとめ> . . . 17:30~18:00
1. 各テーブルからひとこと . . . 各テーブル司会からメッセージをお願いします
 2. 市民メディアネットワークに向けて (市民メディア全国交流集会 2004 事務局; 木野秀明)
- 閉会 . . . 18:00
- 懇親交流会 . . . 18:00~19:00 同じ会場です。19:00 懇親交流会閉会

開催日 : 2004年1月24日(土)

場所 : 名古屋市男女平等参画推進センター



岸本晃_プロフィール
 1953年兵庫県生まれ。
 山口大学文学部社会学卒業。
 熊本の民放テレビで14年間報道制作局勤務。
 1998年「人、光る。國創り」を理念に(有)プリズムを起業。
 メディアを活用して豊かな生活をクリエイティブする「住民ディレクター」を発案、
 現在までに熊本県内で200人余りを養成。一貫した住民制作の番組やドラマをプロデュース。
 熊本朝日放送「新発見伝くまもと」、熊本ケーブルネットワーク「使えるテレビ」など。
 プリズム代表取締役、NPOくまもと未来理事長を務める。

講演内容

住民ディレクター活動の継続の秘訣をよく聞かれるが、まずは自分自身の興味、関心をひたすら追求したこと。それと同じことを皆さんに保障したことだと思う。つまり、ひとりの自分から「好きなこと」「やりたいこと」を始め、お仲間とその場を提供してきたこと。メディアの場の確保も含め、一貫して住民一人一人の主体性を尊重してきたことだと思う。たとえば映像は「押せば映る」、番組収録は「その場にいる人でやる」ことは、誰でも自分流で始められ、許される時間、環境で工夫して創造する力を生み出したと思う。

住民ディレクターの発想は情報発信技術の前に「少しでも心豊かに、お互いが助け合う」ための生き方の手法だ。継続し、地域を活性化する新しい力となることが証明され始めた今、メディア、行政、NPO、大学などあらゆる場面で求められる「普通の人々の生き方のひとつ」というていいのではないだろうか？

「住民ディレクターは「ひとりの自分」から」

発表内容 シビックメディアは、取材活動を通じて自分たちの住む札幌を再発見し、コミュニティーの再生と発展につなげようとする活動を行なっている。活動の一端は、札幌市の地域サイト「ウェブシティさっぽろ」、観光サイト「ようこそさっぽろ」、コミュニティFMの市民参加型生放送を核とした「そら色ステーション」という3つのWEBサイトに見ることができる。

シビックメディア



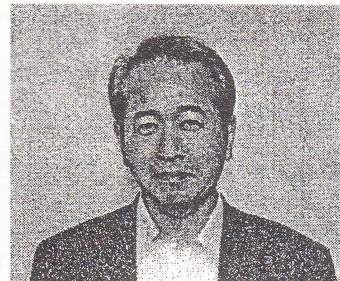
吉村卓也_プロフィール

地域の情報発信をだれが担っていくのだろうか。そのような疑問が活動のきっかけのひとつである。メディアというツールを利用して、都市のプロモーションを行い、自治の主体としての「市民」を増やしていきたいと願っている。

1959年埼玉県浦和市生まれ。
 朝日新聞社を経て、米國ミズーリ大学ジャーナリズム学部修士修了。
 デジタルハウス社アメリカ駐在後、1996年札幌へ。
 現在は北海道東海大学国際文化学部助教授。
 2002年からNPO法人シビックメディア代表理事を務める。

むさしのみたか市民テレビ局

発表内容 「テレビを使ってまちづくり」ができるかもしれないと「市民による市民のためのテレビ局」を開局したものの、まさに試行錯誤の連続。でも、そこで見えてきたものは、「地元ケーブルテレビのコミュニティーチャンネルは、私たち市民がNPO法人組織として責任を持って主体的に運営すべき」という考え。私たちが暮らすこのまちのコミュニティー番組は、このまちに暮らす私たち自身が主体的に企画・制作・運営していった方が良いのではということである。それを我が市民テレビ局の最終目標として設定。今、その遠い目標に向かって第1次中期計画(番組の内容充実・収益事業体制の確立・専従局員の設置)がスタートしたばかりである。



川井信良_プロフィール

1949年12月東京都千駄ヶ谷生まれ。
 小学校6年の時三鷹市に転居、以来現在まで三鷹市在住。
 1971年から現在まで印刷会社に勤務。
 1979年地域新聞「みたかさいたか」創刊に参加。
 1990年「みたか市民ネットワーク」設立、2000年「むさしのみたか市民テレビ局」開局に参加。
 現在、NPO法人むさしのみたか市民テレビ局代表を務める。

星野慎吾_プロフィール

大学の授業で映像制作の課題を出されたことをきっかけに、映像制作に没頭する。インターネット上の情報発信に興味を持っており、地域情報プラットフォームの必要性を感じ、現在の活動に参加。湘南市民テレビ局事務局員(湘南TV Web担当)。慶応大学総合政策学部在学中。

鳥海希世子_プロフィール

大学入学時より学内外で映像制作活動を行う。ドキュメンタリー制作会Az(学生団体)第5期代表を務めから市民メディアに興味を持ち、湘南市民テレビ局立ち上げに参加。湘南市民テレビ局事務局員。慶応義塾大学環境情報学部在学中。



(写真は鳥海さん)

発表内容
 2002年度前半期に開講された慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス、オルタナティブメディア研究会(高橋恭子特別招聘講師)の有志メンバーによって構想された「湘南市民テレビ局」は、地域における映像講座(湘南市民ディレクター講座)を経て2003年4月にWEBサイト“湘南.TV”をオープン。現在は月に一度のペースで新作を更新している。
 構想当初から、地域住民による継続性ある活動を目指し、その拠点を大学のある神奈川県藤沢市に置く。大学という枠を飛び出した形で始まり、活動開始から1年半が経つ現在、活動の主体は徐々に地域の中へ根付きつつある。

湘南市民テレビ局



1956年生まれ。
1980年代より「市民とメディア」をテーマに活動。
1990年代に地元局再生運動に参加。放送メディアを使った市民発信活動「KBS京都アクセスクラブ」事務局長を務めた後、NPO放送局設立運動に参加。
現在、NPO京都コミュニティ放送理事、支援カンパニー「京都ラジオカフェ株式会社」代表取締役を務める。

福井文雄 _プロフィール



高橋孝之 _プロフィール

1946年7月11日生まれ
1968年 米子フォト工房設立
1979年 (有)米子フォト工房法人化 代表取締役就任 現在に至る
1980年 (株)山陰ビデオシステム設立 代表取締役就任 現在に至る
1984年 (株)中海テレビ放送常務取締役就任
1993年 (株)サテライトコミュニケーションズ 西日本設立
現在：(株)サテライトコミュニケーションズ ネットワーク 代表取締役就任 現在に至る
1999年 (株)中海テレビ放送専務取締役就任 現在に至る

鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会 副会長
総務省 地域メディアコンテンツ研究会 構成員
中四国映像製作社連盟 幹事
中四国デジタルアーカイブ推進協議会 会員

(別紙参照) 発表内容

サテライトコミュニケーションズ ショッピングネットワーク

KYOTO Community Broadcasting Station 京都コミュニティ放送

発表内容

NPO京都コミュニティ放送は、2003年3月に日本初のNPO放送局「京都三条ラジオカフェ」を開局しました。「コミュニティ放送」とは、市区町村をエリアとする小出力のFMラジオ局で、現在、全国に160局余が開局しています。歴史的に規制が厳しいと言われる日本の放送行政のなか、現在に至るまでNHKを除き株式会社以外に放送免許が交付された例はありませんでした。しかし1988年のNPO法制定を受け、2003年の時点で日本にもNPO放送局が誕生したことは、歴史的には特筆すべき出来事です。

“日本初のNPO放送局はどこまで市民のメディアと成り得るか？”

私たちがめざすのは「市民による市民のための放送局」という視点ですが、果たして結果や如何に…。開局後の経過を振り返りながら、市民のメディアとは何かを考えます。

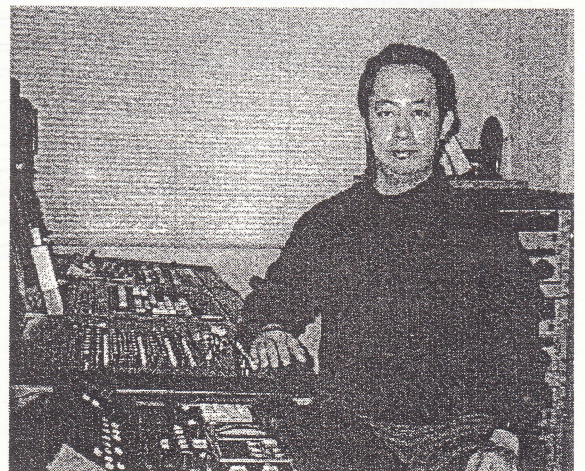
デジタル化を控えて局内の若手社員で議論してゆく中で、住民主体の番組づくりが目指すべき方向のひとつだと感じるようになりました。きっかけは熊本で開かれたワークショップです。「エムテレ」の「よーい、スタート！」は、視聴者の皆さんにカメラを貸し出し興味あるテーマを取材してもらおうという企画で、2002年4月に始まりました。これまでに、学生やNPO、地域おこしのグループなど約80団体、300人以上が出演してくれています。私達のカバーできない情報を提供してもらったり、県民の目線で伝えてもらうなど、成果も見えてきました。一方(課題と言って良いのかわかりませんが)、参加者が固定したり、出演者の活動紹介が中心となる傾向も見られます。今後、このコーナーをどう発展させていくのか検討しています。

“「エムテレ」の取り組み” 発表内容

三重テレビ放送局

1966年 三重県伊賀町で生まれ。
1990年 大阪市立大学法学部卒業後、三重テレビ放送入社、報道制作勤務。芦浜原発問題や在日韓国人元軍属の戦後補償問題等を取材。
1998年 県内の中学生の沖縄修学旅行をテーマにしたドキュメンタリー「命どう宝」を制作。アジア未来賞コンクールで特別賞受賞。
2002年 住民参加型の情報番組「エムテレ」に携わる。ハンセン病問題を取材。

小川秀行 _プロフィール



市民メディア・パブリックアクセスの事例

※本事例集は、「市民とメディア研究会・あくせす」(<http://access.tcp.jp/>)がホームページなどを検索して作成しました。

●ケーブルテレビ

	団体名OR番組	URL	住所
1	NPO法人むさしのみたか市民テレビ局	http://www.parkcity.ne.jp/~mmctv/	〒181-0013東京都三鷹市下連雀3-35-16飛高堂SOHOオフィス202号
2	株式会社中海テレビ放送	http://gozura101.chukai.ne.jp/	〒683-0852 鳥取県米子市河崎810
3	株式会社ジェイコム札幌	http://www.jcom.co.jp/sapporo/	〒062-8624 札幌市豊平区月寒東2条18-7-20
4	ヒューマン・ステーション	http://www6.ocn.ne.jp/~human-s/	〒020-0015 岩手県盛岡市本町2-3-32
5	岩手ケーブルテレビジョン株式会社	http://www.ictnet.jp/	〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町11-22
6	株式会社上田ケーブルビジョン/市民ビデオ『UCV2』	http://www.ucv.co.jp/	〒386-0012 長野県上田市中央6丁目12番6号
7	市民チャンネルボランティア鎌倉	http://www.cvk-kamakura.com/	〒248-8686 鎌倉市役所地域情報推進課 小崎敦助様
8	小淵沢町農村多元情報システムにこここすていしょん	http://www.yatsu.gr.jp/kbc/nist/nist.html	山梨県北巨摩郡小淵沢町1574-2
9	株式会社ケーブルテレビ可児	http://www.ck.ne.jp/	〒509-0214 岐阜県可児市広見一丁目5番地
10	株式会社 シー・ティー・ワイ	http://www.cty-net.ne.jp/	〒510-0093 三重県四日市市本町8番2号
11	豊中・池田ケーブルネットワーク株式会社/番組『てれび瓦版』『TCCTみんなで発』	http://www.tcct.co.jp/	
12	吹田ケーブルテレビジョン株式会社	http://www.sutv.co.jp/	〒564-0027 吹田市朝日町1番501号 吹田さんくす1番館5階
13	株式会社唐津ケーブルテレビジョン	http://www.people-i.ne.jp/	佐賀県唐津市東大島町3番11号
14	NPO法人『調査隊おきなわ』	http://w1.nirai.ne.jp/chousatai21/	〒902-0073 那覇市上間338番地(サウスポイントスタジオ内)
15	福井ケーブルテレビ	http://www.fctv.co.jp/	
16	コミュニティネットワーク南条		南条郡南条町
17	嶺南ケーブルネットワーク	http://www.rcn.ne.jp/index_out.html	
18	ミクスネットワーク株式会社(旧:西三河ニューテレビ)	http://www.catvics.ne.jp/	〒444-2137 愛知県岡崎市数田1-1-5
19	株式会社とこなめニューテレビ/愛称:TVタック	http://www.tac-net.co.jp/	〒479-8555 愛知県常滑市瀬木町2-70
20	株式会社京都ケーブルコミュニケーションズ/愛称:みやびじょん	http://www.miyavision.co.jp/	京都市右京区太秦堀之内町12-9
21	株式会社テレビ岸和田	http://www.tvk.co.jp/	〒596-0076 大阪府岸和田市野田町3-4-10
22	東大阪ケーブルテレビ株式会社	http://www.hct.co.jp/	
23	滝野町ケーブルコミュニケーション/町民ドラマ「ふれあいビデオタイム」	http://www.tcnnet.tv/	兵庫県加東郡滝野町下滝野1269-2
24	関宮町有線テレビジョン	http://www.town.sekinomiya.hyogo.jp/syt/syt.html	

●地上波

	団体名OR番組	URL	住所
25	三重テレビ『よーい、スタート!』	http://www.mietv.com/index.html	本社:三重県津市浜見町小谷693-1
26	『KBS京都アクセスクラブ』	http://www.kbs-kyoto.co.jp/	
27	日本映像ネットワーク	http://www.asahi-net.or.jp/~ah9h-ski/index.htm	
28	TBSあなたもリポーター!『私がずばっと』	http://www.tbs.co.jp/zubatto/zubatto/zubatto.html	
29	北海道放送HBC『ふるさとつながり北海道』	http://www.hbc.co.jp/	
30	熊本朝日放送『新発見伝くまもと』	http://www.kab.co.jp/	

●FM

	団体名OR番組	URL	住所
31	NPO法人京都コミュニティ放送	http://www.radiocafe.jp/	〒604-8082京都市中京区三条通御幸町東入弁慶石町56番地
32	おきたまラジオコミュニティ	http://www3.omn.ne.jp/~oktm_fm/	〒992-0045 米沢市中央1丁目9番20号
33	FMわっち	http://www.fm-watch.jp/home/home.html	
34	株式会社奈良シティエフエムコミュニケーションズ/ならどっとFM	http://www.nara.fm/	
35	株式会社エフエムわいわい/FMわいわい	http://www.tcc117.org/fmyy/	
36	関西インターメディア株式会社/FM CO・CO・LO	http://www.cocolo.co.jp/index.html	

●CS

	団体名OR番組	URL	住所
37	NPO法人CS障害者放送統一機構『目で聴くテレビ』	http://www.medekiku.jp/index.shtml	〒530-0044大阪府北区東天満2-7-12 スターポート
38	㈱サテライトコミュニケーションズネットワーク	http://www.sc-net.ne.jp/	〒683-0004鳥取県米子市上福原5丁目2-32
39	ケーブルテレビ衛星機構(C-Channel)		

市民メディア・パブリックアクセスの事例

※本事例集は、「市民とメディア研究会・あくせす」(<http://access.tcp.jp/>)がホームページなどを検索して作成しました。

●Inter-net放送

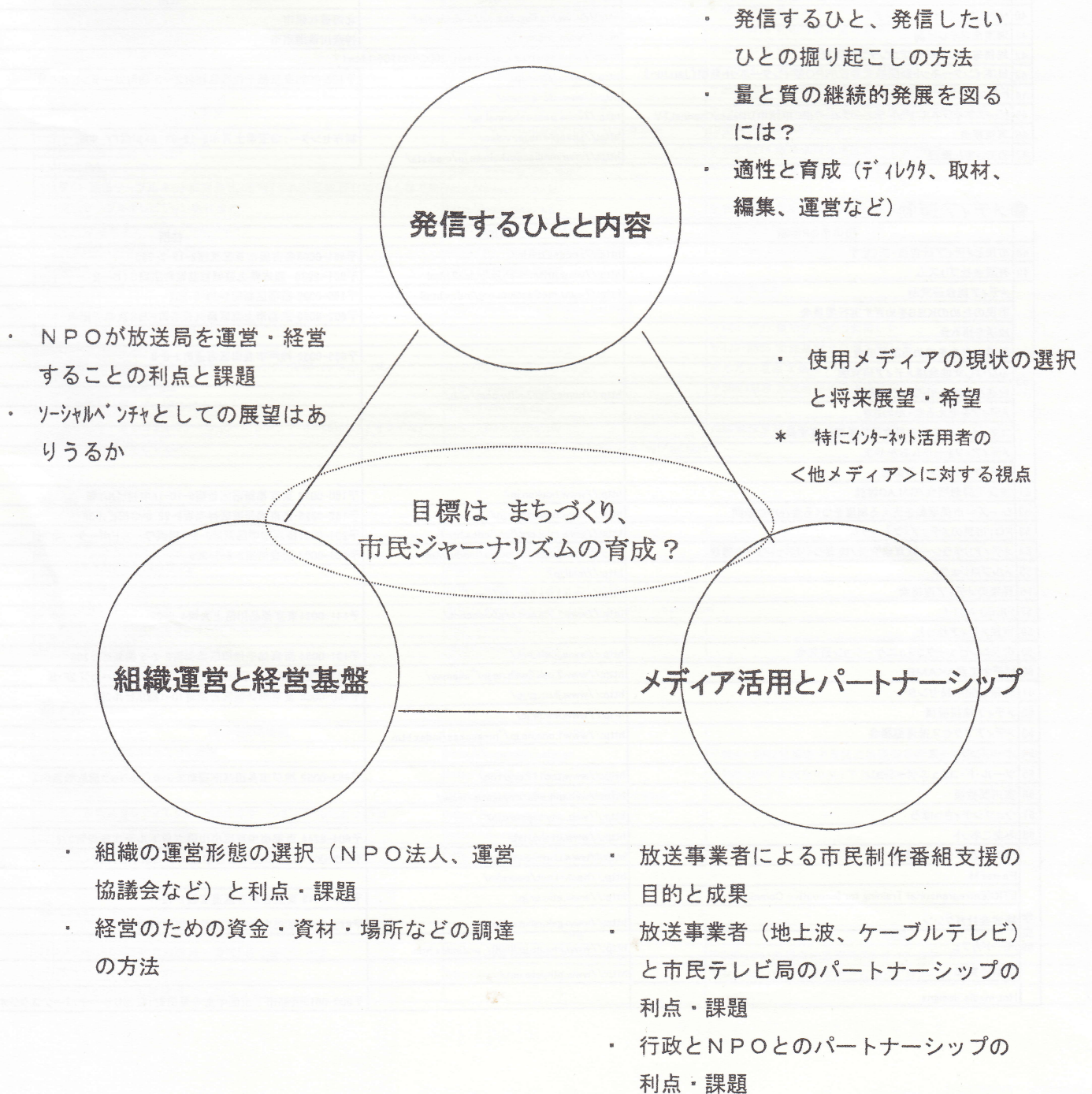
	団体名OR番組	URL	住所
40	NPO法人シビックメディア	http://www.mediagres.com/civicmedia/	北海道札幌市
41	湘南市テレビ局	http://www.shonan.tv/	神奈川県湘南市
42	総務省・地域メディアコンテンツ研究会	http://www.soumu.go.jp/s-news/2002/021206_1.html	
43	日本インターネット新聞株式会社/NPO型インターネット新聞『JanJan』	http://www.janjan.jp/	〒102-0083東京都千代田区麹町2-3 麹町ガーデンビル9階
44	ドキュメンタリー制作会Az	http://www.dc-az.com/	
45	ピースチャンネル ドット ティーヴィー(NPO申請中)/PeaceChannel.TV	http://www.peacechannel.tv/	
46	東京視点	http://j.people.ne.jp/video/	制作センター:埼玉県上青木3-12-63 SKIPCITY 905
47	めでいずた慶應	http://mwr.mediacom.keio.ac.jp/medista/	

●メディア運動

	団体名OR番組	URL	住所
48	市民とメディア研究会・あくせす	http://access.tcp.jp/	〒461-0005名古屋市中区東横2-18-3-702
49	有限会社プリズム	http://www.prisim-web.jp/index2.html	〒861-2238 熊本県上益城郡益城町広崎516-2
50	メディア総合研究所	http://www.mediasoken.org/index.html	〒160-0022 新宿区新宿1-29-5-902
	市民のためのKBSをめざす実行委員会		〒602-8588 京都市上京区烏丸長者町KBS京都労組内
	放送を語る会		
	報道の自由を求める市民の会		〒653-0052 神戸市長田区海運町3-3-8
	ふなばし女性会議メディア研究会		
	放送と女性ネットワークin関西	http://homepage3.nifty.com/wnb/	
	メディアを考える会・かわさき		
	コマーシャルの中の男女役割を問い直す会		
メディア・フォーラムおかやま			
メディアリテラシー倶楽部			
51	放送批評懇談会/GALAO雑誌	http://www.houkon.jp/	〒160-0022 東京都新宿区新宿5-10-14中村ビル2階
52	シーズ=市民活動を支える制度をつくる会/NPO新聞	http://www.npweb.gr.jp/	〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-22 かつ田ビル3F
53	FCT市民のメディア・フォーラム	http://www.mlpj.org/fct/index.html	〒231-0001横浜市中区新港2-2-1横浜ワールドポーターズ6階
54	メディアリテラシー教育研究会/授業づくりネットワーク雑誌	http://www.jugyo.jp/media/media.html	〒186-0002 国立市東2-6-2-305
55	メルプロジェクト	http://mell.jp/	
56	民衆のメディア連絡会	http://www1.jca.apc.org/pmna/	
57	VIDEO ACT!	http://www1.jca.apc.org/videoact/	〒141-0021東京都品川区上大崎4-5-29
58	市民メディアねっと		
59	市民コンピュータコミュニケーション研究会	http://www.jcafe.net/	〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-2-5 興新ビル206
60	ビデオ工房AKAME	http://www2.osk3web.ne.jp/~akamev/	〒533 大阪市東淀川区東淡路3-1-6アビタシオン・カジ 2F・B
61	情報公開市民センター	http://www.jkcc.gr.jp/	〒160-0008 東京都新宿区三栄町10-1橋爪ビル2階
62	メディア検証機構	http://www.imr.or.jp/	
63	メディアアクセス推進協議会	http://www1.ocn.ne.jp/~m-access/index.htm	
64	オープンリソース		
65	ツール・ド・コミュニケーション	http://www.tcc117.org/tdc/	〒653-0052 神戸市長田区海運町3-3-8 (カトリック鷹取教会内)
66	宮川繁教授	http://web.mit.edu/miyagawa/www/	
67	ウェブシティさっぽろ	http://web.city.sapporo.jp/	
68	みあこネット	http://www.miako.net/	〒604-8244 京都市中京区小川通六角下元本能寺町376
学生	UNN関西学生報道連盟	http://www.unn-news.com/	〒532-0011大阪市淀川区西中島3-21-9駅前ビル5F
	PeersFM	http://book-i.net/peersfm/	
	ETIC(Entrepreneurial Training for Innovative Communities)	http://www.etic.or.jp/	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1
	株式会社ガクシン	http://www.gakushin.co.jp/	〒612-0022 京都市伏見区深草錦森町11-2
	69	iモードカフェ	http://www.ime.ne.jp:8890/~pc/index.htm
	学割@京都	http://www.atkyoto.net/	
	Hot media designs		〒600-8815京都市下京区中堂寺栗田町1京都リサーチパーク スタジオ

市民メディアを考える3つの観点について

■本日の各事例の発表に当たっては、以下の三つの切り口からご紹介いただくようお願いしております。いずれも活動を活性化させ継続していくうえで欠かせない重要なポイントです。これらの観点から事例をお聞きいただき、テーブルディスカッションがより有効になれば幸いです。



今後の方向性について

1. コミュニケーションネットワークの設定

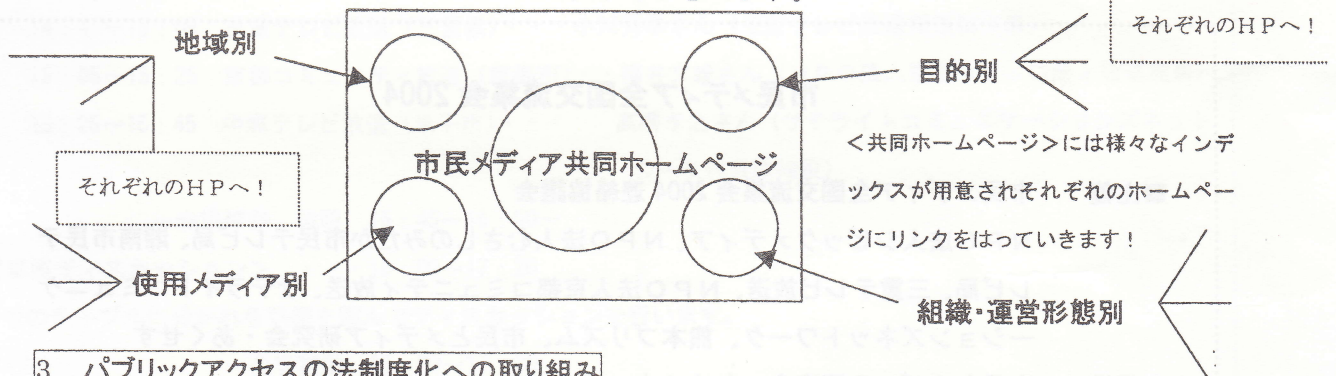
市民メディアの取り組みは多様なあり方が期待されます。それらが大きく発展していくには取り組むひとたちの継続的なコミュニケーションが重要と思われます。メーリングリスト、掲示板、メルマガ、その他の新しい工夫でコミュニケーションネットワークを構築しましょう。

- * 今回の連絡協議会メンバーに加え、参加者のみなさんからも有志を募り協議・推進したいと考えます。
- * あくせすHPに提案を発信しますので今後もチェックください。

2. webネットワークの形成

市民メディアを推進あるいは支援しておられる皆様の多くはホームページなどweb上に何らかのコンテンツをお持ちだと思います。既に相互のリンクなどの取り組みもあることでしょう。webコンテンツのネットワークの構築を共に行いましょう。新しい<共通のプラットフォーム>を形成すれば、

- (1) 相互の情報交換がスムーズになり、
- (2) 市民メディアの取り組みが次第に構造化（マップ化）されて大きな共通財産（データベース）に成長すると思います。



3. パブリックアクセスの法制度化への取り組み

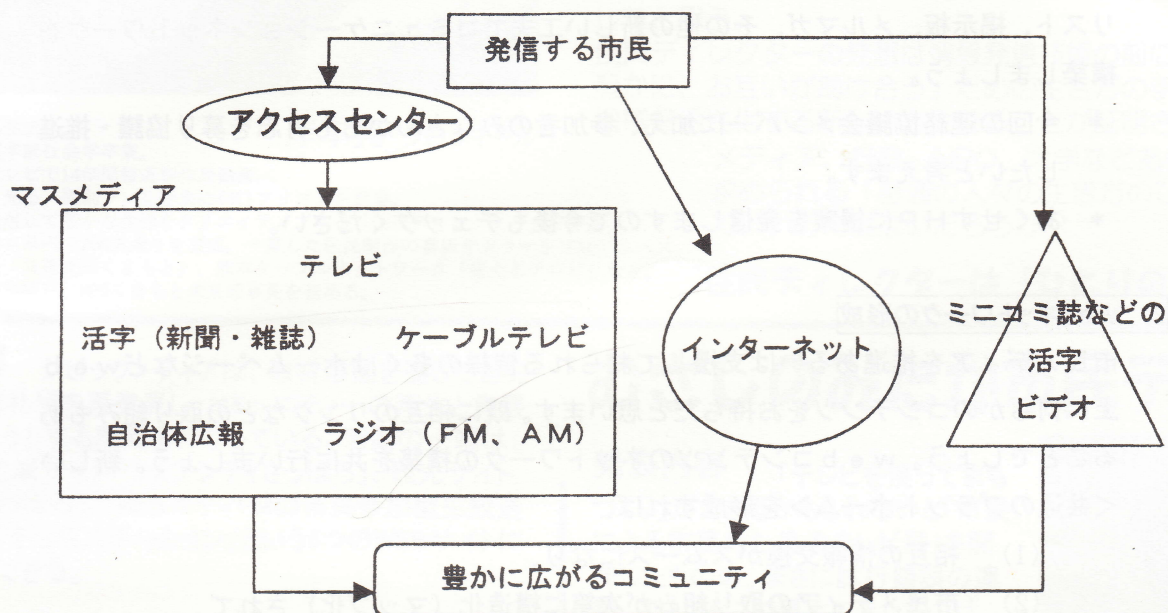
地上デジタルの推進はメディア構造の一大変革期と考えられます。欧米や韓国に見られるように市民のメディアアクセス（パブリックアクセス）の法制度化もひとつの取り組み課題と考えられます。これを目的とした研究調査が2004年開始される予定です。

4. 今後の市民メディア全国交流集会の開催

今回の集会は当初の予想を大きく上回る参加者がありました。このテーマが重要な関心事のひとつである、ということだと思われます。ぜひこのような研究・交流集会を持ち回りで継続するよう提案します。次回開催はく >!

■ 市民のメディアアクセスを支援するアクセスセンター構想

市民が発信する内容、目的、使用するメディアなどは様々です。マスメディアについては社会的訴求力も大きい一方、市民によるアクセスがまだまだ容易とは言えません。海外の事例に見られるアクセスセンターはマスメディアと市民を結ぶ役割が期待されます。



市民メディア全国交流集会 2004

- 主催 市民メディア全国交流集会 2004 連絡協議会
NPO法人シビックメディア、NPO法人むさしのみたか市民テレビ局、湘南市民テレビ局、三重テレビ放送、NPO法人京都コミュニティ放送、サテライトコミュニケーションズネットワーク、熊本プリズム、市民とメディア研究会・あくせす
- 運営 市民とメディア研究会・あくせす
学生運営委員 森 香里 (名古屋大)、高 軍 (名古屋大)、堀口 哲平 (中部大)
- 協賛 名古屋市男女平等参画推進センター
- 後援 名古屋市
- 協力 NPO法人ボランタリーネイバーズ、シニアライフ研究所りあもでんな

本集会に関するお問い合わせなどは、<市民とメディア研究会・あくせす>まで
〒461-0005 名古屋市東区東桜2-18-3-702 ボランタリーネイバーズ気付
TEL : 052-979-6446 FAX : 052-979-6448
ホームページ <http://access.tcp.jp> 担当：木野秀明 kinohideaki@ybb.ne.jp